

# 第 4 回

## 但馬（円山川等）地域総合治水推進協議会

### 議 事 概 要

事 項	第4回 但馬（円山川等）地域 総合治水推進協議会	場 所	兵庫県豊岡総合庁舎 3階 301会議室
日 時	平成29年1月25日（水） 14：00～16：00	出席者	委員：13名
内 容	1. 開 会 (1) 開会あいさつ (2) 委員紹介 2. 議 事 (1) 協議会設置要綱の改正について (2) 但馬（円山川等）地域総合治水推進計画のフォローアップシートの公表について (3) 河川中上流部治水対策事業について 3. その他（連絡事項） 4. 閉 会		
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議事次第、委員名簿、出席者名簿、配席図</li> <li>・資料1-1 但馬（円山川等）地域総合治水推進協議会 設置要綱</li> <li>・資料1-2 但馬（円山川等）地域総合治水推進協議会 公開要領〔準則〕</li> <li>・資料2 但馬（円山川等）地域総合治水計画フォローアップシート</li> <li>・資料3 河川中上流部治水対策について</li> <li>・資料4 但馬（円山川等）地域総合治水推進計画 変更案</li> <li>・参考資料 但馬（円山川等）地域総合治水推進計画【概要版】</li> <li>・参考資料 浸水被害から県民の命と生活を守る「総合治水」の推進を目指して</li> </ul>		

#### ○結論

- ・協議会設置要綱、公開要領の改正について承認
- ・協議会での意見を踏まえた修正を行った上で、フォローアップシートを公表することを承認
- ・河川中上流部治水対策を推進計画に位置づけることを承認

#### ○議事内容

##### 1. 開 会

1. (1) 開会挨拶（会長より）
1. (2) 委員紹介（事務局より）

##### 2. 議 事

##### 2. (1) 協議会設置要綱の改正について

資料1-1、1-2を用いて、事務局より説明を行った。

##### 2. (2) 但馬（円山川等）地域総合治水推進計画のフォローアップシートの公表について

資料2を用いて、事務局より説明を行った。

## 2. (3) 河川中上流部治水対策について

資料3、4を用いて、事務局より説明を行った。

## 3. その他（連絡事項）

- ・水防災意識社会再構築ビジョンについて、国交省より情報提供があった。
- ・以下の3点について事務局より事務連絡を行った。
  - 1) 議事要旨を作成するので、各委員には確認をお願いしたい。
  - 2) 今後の予定について、計画の大幅な見直し等が必要となれば、適宜、ワーキング、協議会を開催する。日程等が確定すれば連絡する。
  - 3) 県のホームページに、推進協議会の情報を掲載していく。

## 4. 閉 会

### ○主な意見

質疑応答での主な意見は、下記のとおり。

#### 【2. (2) 但馬（円山川等）地域総合治水推進計画のフォローアップシートの公表について】

- ・与布土ダムの整備目的と事前放流に関する検討内容を説明して欲しい。（会長）
- ・与布土ダムの目的は治水と、農業用や朝来市の水道用の利水である。この利水容量分の水を台風期などの出水時に事前に放流し水位を下げることで、少しでも治水容量を増やし洪水に備える取組みを現在検討中である。（事務局）
- ・矢田川について、期間の欄が平成35年度まで空白になっているが、それまでは事業計画が無いということか。（香美町）
- ・矢田川は、備考欄にあるように社会基盤整備プログラムにて平成31年度から35年度の間に着手する予定で、今の時点では明確に着手時期が記載できないため空白としている。今後フォローアップを行っていく中で、事業の見通しが立った際に記載したいと考えている。（兵庫県行政関係者）
- ・平成31年度から平成35年度の間に着手するというを、期間欄に楕円等の図形で着手予定の範囲を示してはどうか。（兵庫県）
- ・計画期間以前の取組みや単年度の取組みなどのフォローアップを必要としない取組みは記載するのか。また、平成28年度の実績について、期間欄や備考欄の記載内容に不整合となっている箇所があるので精査が必要である。（豊岡市）
- ・取組み内容を広く県民に示すことがフォローアップシート公表の目的のため、過年度、単年度の取組みについても記載していく。また、期間欄、備考欄の整合については、再度精査する。なお、平成28年度の実績については、来年度始めにとりまとめ、シートに記載する予定である。（事務局）
- ・期間欄について、計画は上段、実績は下段に統一する方が見やすくなるのでは。（兵庫県）
- ・豊岡市、県、国で実施している台風23号メモリアル防災学習会や、豊岡市が実施している市内全ての学校園でメモリアル防災授業は、今後も継続的に実施していくの

か。災害を伝えることは重要であると感じているので、継続していただきたい。

(県民委員)

- ・ 意識啓発、災害記憶を風化させないため、台風23号、北但大震災、阪神淡路大震災の時期に実施している。これらの取組みは、今後も継続的に実施していく。(豊岡市)
- ・ 朝来市の市道で、アンダーパスへの水深表示板の設置を計画している。道路が冠水した場合には、アンダーパスへの車両進入を防ぐ設備も必要ではないかと考えている。国道、県道において、整備されている事例などがあれば伺いたい。(朝来市)
- ・ 道路利用者の立場から、冠水したアンダーパスへの進入を防ぐ設備を設置することが望ましい。兵庫県では、アンダーパスの前後に道路情報板を設置し、車両の進入を防いでいる。また、回転式からLED式に更新し視認性を高める取組みも行っている。設置事例について情報提供させてもらおう。(兵庫県)
- ・ 「ためる」取組みとして、透水性舗装や校庭芝生化などがあるが、どのような効果があるのか。(県民委員)
- ・ 例えばアスファルト舗装に雨が降ると、表面を伝って一気に側溝、河川へ流出し、河川水位の上昇が起こる。そのため、透水性舗装や校庭芝生化を行うことで、わずかでも地下へ雨水を浸透させ、河川水位の上昇を遅らせることが目的である。「ためる」取組みは、一つ一つの小さな効果を積上げていくことで、流域全体として河川への流出を抑制することを目指している。(兵庫県)
- ・ 田は昔から遊水池として活用されており、さらに田んぼダムのセキ板をいれることで相当な水量を貯める事ができるので、ぜひ流域全体に広げていただきたい。ただ、田を乾かすためにセキ板を外している時期に、夜に雨が降ったからといってセキ板を付けにいくというのは難しく、運用については相談したい。(県民委員)
- ・ 水田は稲を作る場所であるため、営農の都合を優先していただいて結構である。また、田んぼダムの取組みとして配布しているセキ板には、通常の雨を排水可能な小さな開口部を設けており、田の水を抜くとき以外は基本的には付けっぱなしで複雑な運用は必要としない。(兵庫県行政関係者)
- ・ 豊岡市内では、降雨条件や地形条件が適さないと考えており、田んぼダムの取組みを積極的に推進しない考えである。豊岡市は円山川下流域で築堤河川部分であるため、大雨による水門を閉めポンプ排水を行う事態の時に、田んぼに水を貯めていることで悪影響があるのではと懸念している。上流域の掘込河川区間で推進していくべきと考えている。(豊岡市行政関係者)
- ・ 確かに流域対策は上流域で実施すれば、より下流域での水位上昇の抑制に効果が発揮されるものである。しかし、その恩恵をより受ける下流域の豊岡市が、自らは取組まないというのはいかがなものか。豊岡市でも取組むので、上流も含めた流域全体として取組もうという姿勢であるべきではないか。(養父市)
- ・ 豊岡市としては、総合治水推進計画本文において、田んぼダムの限定的な効力発揮を明記するよう、計画の変更をお願いしたいと考えている。(豊岡市行政関係者)

- ・ 台風23号で大きな被害を経験した豊岡市が、そのような考えであることに納得がいかない。田んぼダムだけでなく、放棄田を耕して水を貯めるなど、小さな効果でも流域全体で取組んでいくことが重要だと考えている。上流域だけで取組めというのは、責任転嫁ではないか。（県民委員）
- ・ 責任転嫁ではなく、下流域においては、雨水は貯めずにできるだけ早く円山川に流すべきだと考えている。ご理解いただきたい。（豊岡市行政関係者）
- ・ 田んぼダムのセキ板には開口部があるため、降雨初期に水を貯めてしまうという心配は無いと考えている。（兵庫県行政関係者）
- ・ 豊岡市の発言に関する検討資料はなく、この場で議論しても結論は出ない。豊岡市からは問題提起があったとして、今後の協議会の検討内容とする。（会長）
- ・ ここまで出た意見を反映し、フォローアップシートを公表することでよろしいか。（会長）  
⇒委員により承認された。

## 【2.（3）河川中上流部治水対策事業について】

- ・ 但馬地域は90%前後が森林であり、適正な間伐や広葉樹の植樹など山の保水能力を高める取組みが重要であると考えている。（朝来市）
- ・ 資料4の推進計画の変更案について、4-7ページの備考に、「今後、他の箇所においても整備する場合がある。」と記載があるが、検討予定箇所はお示ししているので、「今後、他の箇所においても同様の整備を検討していく」というような少し前向きな表現として良いのでは。（兵庫県）
- ・ そのような踏み込んだ表現に修正した上で、計画を変更すること。（会長）  
⇒修正を行うことを前提に、計画変更を承認された。

## 4. その他（連絡事項）

### 【水防災意識社会 再構築ビジョンについて（国交省より）】

- ・ 再構築ビジョンにあるように、想定最大規模の洪水への対応をしておくことが大切であり、国交省が取組みを始めたところである。本地域では、すでに総合治水推進計画を策定し、減災対策を進めている。いきなり1000年に1度の洪水に向けて意識を向上させていくのは難しいため、総合治水計画の取組みを積上げていき、地域の防災意識を高めていくことが効果的であると考えているので、今後も官民が協力し、自信を持って取組みを推進してもらいたい。（会長）
- ・ 本地域の総合治水推進計画においても、水防災意識社会再構築ビジョンを踏まえた取組みを取り入れ、さらに推進していきたいと考えている。（事務局）

## 5. 閉 会

第4回 但馬（円山川等）地域総合治水推進協議会  
出席者一覧

(順不同、敬称略)

区分	氏名	主な役職	出欠
学識経験者	道上 正規	鳥取大学名誉教授	出席
国土交通省	湯浅 武	豊岡河川国道事務所 調査第1課長	代理
兵庫県	松田 智	豊岡土木事務所 所長	代理
豊岡市	石津 隆	上下水道部 下水道課 課長	代理
養父市	立花 篤	まち整備部 土地利用未来課 課長	代理
朝来市	足立 達夫	都市環境部 次長兼建設課 課長	代理
香美町	今井 雄治	建設課 課長	代理
新温泉町	岡本 英樹	新温泉町長	欠席
県民	中嶋 洋二郎	豊岡市区長連合会 会長	出席
	中尾 勝	養父市区長会 会長	欠席
	浅田 郁雄	朝来市連合区長会 会長	出席
	田村 正明	香美町連合自治会 会長	出席
	熊本 鎮雄	新温泉町自治連合会 会長	出席
	岩崎 夏雄	兵庫県防災士会豊岡ブロック 事務長	出席
	井川 栄治	兵庫県土地改良事業団体連合会豊岡支部 支部長	出席

議事録確定署名人

会長：鳥取大学名誉教授

道上 正規

香美町連合自治会会長

田村正明